

安芸太田町ヘルスツーリズム推進協議会 **スタート**

平成23年7月14日(木) 本庁東館2階大集会室で設立総会が開催され「安芸太田町ヘルスツーリズム推進協議会」が発足しました。会長に広島大学大学院保健学研究科のこばやしとしお小林敏夫教授、副会長には安芸太田町観光協会の川本英介会長が就任し会員42名でスタートしました。

「縁側のある養生の里づくり」～「物語」は「縁側」から始まる～

観光プログラム等を開発することで「健康・癒し」をキーワードにした安芸太田町のブランド化を図り着地型の観光地をめざします。

住民に聞く 「熱い想い」を町の「チカラ」へ

観光振興を成功へと導くために重要な役割を果たされる町民の方々を随時ご紹介。第一弾は、大阪から移住された清水さん。町外で勤務をされていますが、地域への熱い想いをお持ちです。この度、ヘルスツーリズム推進協議会の要(かなめ)である人材・商品開発部会長に就任していただきました。

しみず まさひろ
清水 正弘さん(51) 鍼灸師

海外の山岳や辺境地旅行専門旅行会社に12年勤務
中国山地の里山を歩く「深呼吸クラブ」を主宰
広島大学大学院保健学科健康開発学研究室所属
広島修道大学非常勤講師(里山学)
日本ホリスティック医学協会広島事務局長
日本山岳ガイド協会認定登山ガイド
広島大学小林教授のヘルスツーリズム協議会会長
就任も清水氏のご尽力の賜物である。



写真左が医師・帯津良一先生 写真右が清水さん

- Q. 安芸太田町で生活されて13年ですが、安芸太田の地域力向上に「何」が最も必要かを教えてください。
- A. 地域に住む多くの方が、「手ごたえ感のある幸福」を共有できる場づくりではないかと思っています。
- Q. これまでのご経験を踏まえ、具体的にどんな形で安芸太田町に貢献できるとお考えですか？
- A. 20数年間、国内外での自然環境下でのツーリズムを通じた健康づくり、仲間づくり、生きがいがづくりの仕事に携わり、その経験とネットワークを活かした、次世代に継承できる地域の「場づくり」に少しでもお役に立てればと思っています。
- Q. 安芸太田町の良いところを教えてください。
- A. 人と人、人と自然、人と社会の「絆」の大切さが、四季折々の歳時記の中に織り込まれていることではないでしょうか？
それは、都会で喧伝されている「無縁社会」と対極にあるものだと感じています。
- Q. 今回ヘルスツーリズム推進協議会の要である人材・商品開発部会長に就任されました。町の期待も大きいと思いますが、抱負がありましたら一言お願いします。
- A. この事業展開は、安芸太田町の「過去・現在・未来」、言い換えれば「先人の知恵・私達の活力、次世代への継承」といったことを考える「場と時間」ではないかと思っています。
それは、自然の恵みを活かしながら共生してきた先人達の知恵を改めて掘り起こし、現代の私達が、ヘルスツーリズムという素材でさらに磨きをかけ、そして、安芸太田町に22世紀以降住むであろう次世代の人たちへ、町の「物語」を継承していく作業ではないかと思っています。それだけに、21世紀に安芸太田町に生きている一人の町民として、過去、現在、未来を結ぶバトンリレー走者のつもりで取り組みたいと思っています。